



漢字を忘れないように

パソコンやスマートフォンの普及により手書きをする機会が減ってきている。パソコンなどで文章を作成していることが多く、たまに手書きで書類や文章を作成する場合などに今まで書けていた漢字を思い出すことができず、ひらがなやカタカナで書いてしまうこともある。

パソコンなどでの文字入力に慣れてしまうと、変換機能に頼るためか思い出せなくなり漢字に弱くなったと感じている。

文化庁が毎年実施している「国語に関する世論調査」によると、令和3年度調査（令和4年1～2月）では、情報機器の普及で受けると思う影響について調査をしており、「漢字を手で正確に書く力が衰える」と感じる人が89%あり、平成23年度に行った前回の調査より22ポイント増えていた。

パソコンやスマートフォンの情報機器が普及し、手で字を書くことが減ったことが影響しているのであり、パソコンを始めてから漢字が書けなくなったと感じているユーザーは多いようだ。

そのような理由かはわからないが、情報機器の普及で文字を手書き入力したいというニーズが少なからずあるよう

だ。しかしながら、手書きしたくても、漢字を知らないとの意味もない。

この他にも読み方を間違えてしまう漢字、読み方がわからない漢字、書けない漢字は数多くある。

このままでは、漢字力がみるみる衰えてしまうのではないかと不安である。

そんな中、ユーザーが入力した質問に対して、人間のよう自然な会話ができるAIチャットボットサービスである「チャットGPT（ChatGPT）」が、回答精度の高さから話題となり、利用者が増加している。

チャットGPTなどのAIチャットボットサービスが普及してくると、ますます手で書くことがなくなり、漢字も忘れてくることになるのではないかと。

漢字忘れを防ぐために、書く機会が減っているのでスマホのアプリで管理しているスケジュールは、手帳も活用し手書きで管理している。また、スケジュール以外にメモ書きなど日常的に手を動かすことなど手軽にできることから実践し、漢字力の向上を図っていきたい。

